

様式 1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和 8 年 7 月 13 日

東員町議会

議長 三宅 耕三 様

東員町議会

議員 川瀬 孝代

研 修 報 告 書

研修期間	令和 8 年 7 月 3 日（木） ～ 7 月 4 日（金）【 2 日間】
研修（視察）先	福島県会津若松市
目的（テーマ等）	議会改革（通年議会）について 議員間討議について
特記事項	参加議員 議会全員協議会（議員 12 名・欠席 2 名・事務局 2 名） 説明者・会津若松市議会議長

※ 目的、研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

様式 1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名： 川瀬孝代 〕

目的、研修概要

福島県会津若松市は、人口 108,132 人・49,184 世帯・市域面積 382.99 ㎢である会津地方の中心都市であり会津藩の城下町として栄え鶴ヶ城や飯盛山など歴史的背景の観光地であります。

この度は、議会改革のトップといわれている、会津若松市議会を視察研修先として訪問しました。

東員町議会における議会改革の取り組みについて、議会機能の強化や課題となっている議員間討議、現在取り組んでいる通年議会の導入について、会津若松市議会では、令和 4 年 8 月から導入をしていることから、通年議会を導入された過程やメリット、運営上の留意点、また住民参加への取り組みなどを検討、運営の参考とすることを目的としました。

内容

市議会は、平成 20 年「議会基本条例」に基づいて議会改革を進めてきました。住民福祉の向上を目指した、市民との意見交換会を通じた政策サイクルを確立し実践している。市民の意見を施策に反映させる。通年議会導入で、一年間をとおして議会及び常任委員会が活動能力を有することになる、閉会中での意見交換会、政策討論会での調査研究活動を通年議会導入にあわせて、予算決算常任委員会における所管事務調査として再設計し、市民の意見聴取、政策研究、予算・決算審査までの政策サイクルを 1 つに委員会で、1 年間を通じて一貫して行い、専門性を高めることができるようになった。市議会の取り組みを知るために市民の意見を伺う広聴ツールとして議会モニターの設置。委員（議員）間討議について議会運営の申し合わせ事項を作成している。参考資料では分かりやすく説明があり賛否論だけでなくふみこんだ論点が必要となる。

所感

会津若松市議会においては、常に市民を意識した議会活動を実行しています。住民の福祉向上を目指した議会活動の実現に向けての議長の説明には、他市への視察や専門家のアドバイスを取り入れてさまざまな取り組みを考え、長い時間をかけて段階的に実施してきたことがよくわかりました。

議会改革を進めるために、社会の動きを見ながら議会のあり方を目指していくのは当然ですが、町議会としてこれまで積み上げてきたものにも意義があると思います。議会として、住民に議会活動の見える化や住民参加の議会としていくために工夫しながら、議会活動の実態に合わせて、町民に寄り添う、住民福祉の向上を根底に、り一層開かれた議会を目指すためにも「通年議会」の導入へ向けて組んでいきます。